

(様式2)

教職員研究グループ活動状況報告書

代表者の所 属・職・氏名	尼崎市立 武庫中学校 教諭 笹脇 正勝	研究グループ名 (尼崎市小中一貫教育研究会)	採択番号
-----------------	------------------------	---------------------------	------

研究テーマ分類番号(16)

県教育委員会のホームページに掲載します。

(1)研究テーマ	
尼崎市における小中一貫教育の効果的な取り組み実践 ～子どもの15歳の学力に責任を持つためにはどのように実践するか～	
(2)研究経過及び具体的な取組	
8月 9日	指導助言を依頼している京都産業大学文化学部教授と研究の打ち合わせ 実施場所および人数：京都産業大学 教授および研究会代表者 (成果) ・小中連携を意識した教科カリキュラムの編成の必要性を理解 ・小中連携とキャリア教育との関連性の理解
8月27日	小中連携を意識した教科カリキュラムの検討 実施場所および人数：尼崎市立武庫中学校視聴覚室 1中学校2小学校教員 (内容) ・小学生に対して中学校教員が授業をする際の具体的な授業内容 ・方法の検討 (成果) ・中学校の教科別に分かれて、意見交換ができた。 (課題) ・小学校においては、小中連携は第6学年所属職員が中心であって他学年所属職員に意識の差がある。 ・15歳の学力をどのようにして保証するのかという議論にはならなかった。
9月 9日～11日	小中連携の授業実践 実施場所および人数：尼崎市立武庫中学校 尼崎市立武庫小学校第6学年児童 (内容) ・小学生に対して中学校教員による授業実践 実施教科 国・社・数・理・英・音・保体の7教科 (成果) ・授業実践教科が多く、実施後の子どもへのアンケート調査でも中学校の授業への関心を高めたと確認された。 ・小中連携を推進するためには、授業の連携が基本であることが理解できた。 (課題) ・小学校教員による中学生を対象とした授業ができなかった。 ・教科における系統性の確保および指導方法の共有を図った授業実践には至らなかった。